

出雲平野における築地松実態調査結果の概要について

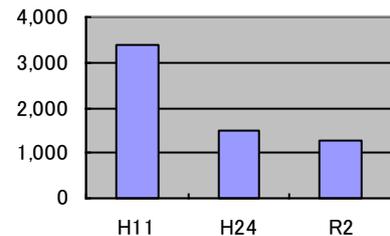
1 調査の概要

- (1) 実施主体 築地松景観保全対策推進協議会
- (2) 期 間 令和2年3月～8月
- (3) 調査方法 調査票の郵送・回収及び一部現地調査
- (4) 調査内容 ①築地松を所有する戸数、築地松の本数等の実態調査
 ②築地松景観保全住民協定区域内の住民意識調査
- (5) 対 象 者 ①築地松景観保全住民協定区域内の世帯 3,290 戸
 ②協定区域外で、前回調査時点で築地松を所有していた世帯 128 戸
 計 3,418 戸

2 調査結果

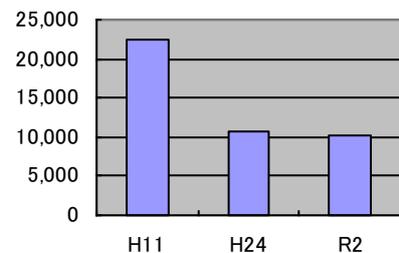
(1) 築地松を所有する戸数

年 度	H11 (前々回)	H24 (前回)	R2 (今回)
戸数(戸)	3,380	1,516	1,264
前回比(戸)	—	▲1,864	▲252
増減率(%)	—	▲55.1	▲16.6



(2) 築地松の本数

年 度	H11 (前々回)	H24 (前回)	R2 (今回)
本数(本)	22,501	10,731	10,182
前回比(本)	—	▲11,769	▲549
増減率(%)	—	▲52.3	▲5.1



今回の調査では、築地松を所有する戸数、築地松の本数ともに、前回調査のような急激な減少ではなかったものの、なお減少傾向が続いていることが把握できました。これは、松くい虫による松枯れ被害木の伐倒後の植え付けが進まなかったこと等が要因として考えられます。

(3) 住民意識調査

①築地松景観を伝え残すことに対する意識 (単位: %)

	H24	R2
残すべき	63.3	59.5
どちらでもない／所有者個人の考えに任せればよい	27.9	31.9
失われても仕方ない	5.8	7.0
わからない、その他	3.0	1.6

②築地松を残していくうえで妨げになっていること (複数回答、単位：%)

	H24	R2
剪定などの維持管理に費用がかかる	77.4	86.3
松枯れが発生した場合、被害木の伐倒に費用がかかる。	70.7	68.0
薬剤地上散布に費用がかかる。	44.3	42.1
薬剤樹幹注入に費用がかかる。	49.4	47.2
枝葉が落ちて困る	28.9	40.6
陰手刈り職人が少ない	22.2	38.7

③今後も築地松を維持していくことができますか

はい	いいえ (難しい)
68.4%	31.6%

④築地松の維持が難しい理由 (複数回答、単位：%)

剪定など維持管理の経費の負担が大きい	64.4
松枯れなどにより築地松の規模が小さくなった	36.1
後継者がいない	42.0
生活様式の変化	25.1
その他	7.8

⑤負担軽減のためになにを希望しますか (複数回答、単位：%)

助成限度額の引き上げ	69.4
助成対象の見直し (松葉の運搬処分費用)	24.3
その他	5.9
希望なし	16.8

意識調査では、築地松の維持管理経費の上昇や陰手刈り職人の減少、所有者に後継者がいないため維持管理が難しくなっている状況が把握できました。

また、剪定に係る助成制度の拡充を求める意見が多く寄せられていました。

3 今後の対応(築地松景観保全対策推進協議会)

- (1) 実態調査の結果を踏まえ、剪定に係る助成金制度の見直しを検討します。
- (2) 意識調査では陰手刈り職人が少ないという意見もあり、築地松を適切に管理できるように、陰手刈り職人の後継者育成と技術伝承のための研修会を今後も定期的の実施します。
- (3) 全国的にも貴重な「築地松のある散居景観」を守るため、引き続き築地松の保全活動等を広く一般に周知していきます。